

CAGLIERO¹¹

NEWSLETTER FOR SALESIAN MISSIONARY ANIMATION



第 22 号

～ サレジオ会宣教ニュース ～

2010 年 10 月 11

ドン・ボスコの宣教の夢 その 5



宣教の月にあたり、皆さんにごあいさつ申し上げます！

「マリアは何と私たちを愛しておられるでしょう」(MB

XVIII 74)！ 1886 年 4 月のバルセロナで、宣教の夢について聞いていた 3 人のもらしたこの感嘆の言葉は、宣教師ドン・ボスコの心を理解するのを助けてくれます。ドン・ボスコと共に歩まれる羊飼いの婦人は、すべての大陸における宣教の前線へ続く道を示されます。

いくつかのサレジオ会共同体の食堂には、チリのヴァルパライソから中国の北京まで線の描かれた世界地図がかかっています。それはこの夢で語られていることです。

毎年 9 月の最後の日曜日、新しい宣教師たちが派遣されるたびに、夢は少しずつ実現しています。2010 年の新しい宣教師たちの多くは、第 5 の夢に現れた国々の出身です。アフリカ (6)、そしてアジア (24) です。125 年後の今、ドン・ボスコの夢の実現に手を貸しましょう！ この 10 月、宣教のロザリオを祈るよう、皆さんに呼びかけます。アフリカ (緑)、アメリカ大陸 (赤)、ヨーロッパ (白)、オセアニア (青)、そしてアジア (黄) の新たな宣教の召命のためにお祈りください。

宣教顧問

Viktor Kliment

ヴァツラフ・クレメンテ神父

北京からサンチアゴまで

1886 年の 4 月 9 日から 10 日にかけての夜、ドン・ボスコはバルセロナで 5 つ目の宣教の夢を見ました。翌日、ドン・ボスコは、この夢についてルア神父、ブランダ神父、ヴィリオーネに語りました。その声は時折、むせぶ涙に途切れました。(全文は MBXVIII, 72-74、サレジオ・デジタル・ライブラリー <http://sdl.sdb.org> 参照)



ドン・ボスコは自分がカステルヌオヴォに近い小高い丘に立っているのに気づきました。スバルノウ谷の近くのブリッコ・デル・ミーノの丘でした。… ドン・ボスコは別の方角を見渡し、地平線のかなたに目をやりました。… ついに、おびたしい少年たちの大群衆が彼に向かって声をあげながら走って来るのが見えました。「ぼくたちはあなたを待っていました。ほんとうに長いあいだ待っていました。やっ

とあなたは来てくれたんですね。ぼくたちと共にいてくれて、もう離れることはないのですね！」

ドン・ボスコはさっぱり意味がわかりませんでした。…しかし、そこに立ち、少年たちのただ中でぼう然としていると、羊飼いの婦人に率いられたおびたしい子羊の群れが見えました。…婦人はドン・ボスコの前で立ち止まり、言いました。「あなたの前にあるものが見えますか……」そしてドン・ボスコの傍らに少年たちを呼び、彼に言いました。「さあ、こちらの方角を見なさい。そのさらに遠くに目をやりなさい、あなたたち皆、その先に目を向け、そこに書いてあることを読みなさい。何が見えますか？」「山が見えます。それから海、そして丘陵、それからまた山々や海が見えます。」「ヴァルパライソって書いてあります」と一人の少年が答えました。もう一人が「サンチアゴと書いてあります」と言えば、3 人目が「その両方の名前が見えます」と答えました。婦人は続けて語りました。「さあ、そこから出発しなさい。サレジオ会が将来、どれほど多くのことを成し遂げなければならないか、わかるでしょう。今度は、あの方角に目を向けなさい。線を引くようにその方向を目でたどりなさい。」「山や丘や海が見えます！」少年たちも目をこらし、いっせいに大きな声で叫びました。「北京って書いてあります！」……「よろしい」と、少年たちの先生であるらしい婦人は言いました。「さあ、一つの端からもう一つの端へ、北京からサンチアゴへ、一本の線を引きなさい。あなたたちの中心をアフリカの真ん中に据えなさい、サレジオ会がどれほどのことを成し遂げなければならないか、わかるでしょう。」「これほど多くの人々は、どこにいるのですか？ それに、これほどたくさんの方角へ、どうやって宣教師を派遣したらいいのでしょうか？」……「聞きなさい」と婦人は答えました。「善意を持ちなさい。なすべきことはただ一つです……」

夢はつづく
第 141 回
宣教師派遣



司牧活動に より宣教的特質を

2010年世界宣教の日
教皇メッセージより

教区・小教区共同体、
修道会・在俗会など奉獻
生活の会、諸運動・共同
体、神の民の皆にとって、
世界宣教の日を祝う10
月は、福音を告げ、司牧
活動により宣教的特質を
与えることに新たに取り
組む機会となります。…
…福音を告げるといふ教
会の任務において、私た
ち皆が積極的に参加する
意識を持ちますように。

宣教の熱意は、諸教会
において、常に活力のし
るしとなってきました
（「救い主の使命」2参照）
そして諸教会は、協力す
ることのうちに、一致、
兄弟愛、連帯の類ないあ
かしとなり、救う愛を告
げ知らせる、信頼に足る
使者となるのです！

宣教師のための第15回生涯養成コース

今年、ローマの教皇庁立サレジオ大学の神学部は、9月20日から12月9日にかけての第15回宣教師生涯養成コースを企画しました。このコースは、今日における教会の宣教活動にまつわる最新の課題について、本格的な研修に関心のあるすべての人に開かれています。

コースの要件は、大学レベルの1学期のものに相当します。宣教師として何年かの体験のある宣教師のための生涯養成コースとして企画されています。授業は、多くが宣教師としての体験をもつ大学講師のチームによって、イタリア語で行われます。コースは、聖地巡礼で締めくくられます。詳しくは、宣教部門、またはPlacide Carava神父(pcarava@gmail.com)にお問い合わせください。

2010年宣教世界諮問委員会

9月28日から30日にかけて、宣教のための世界諮問委員会がローマ本部で開かれました。諮問委員会は、評価、調査、研究、個人的貢献を通して、宣教活性化と会における養成について宣教部門に助言を行うため、二年に一度、開かれるものです。世界諮問委員会には、宣教論・活性化と養成の諸分野の専門家、サレジオ会世界のさまざまな地域の宣教部門協力者、サレジオ家族の代表者、青少年司牧部門と広報部門の代表者が名を連ねます。

委員会は諮問の終わりに、ほかのさまざまな提案と共に、文書「サレジオ宣教活動の枠組み」を仕上げることで、2012年までにサレジオ宣教学協会を立ち上げ、2015年にサレジオ宣教大会を開催する可能性を検討することを提示しました。



Salesian Missionary Intention

中央・東ヨーロッパのサレジオ家族のために

中央ヨーロッパ、東ヨーロッパのサレジオ家族が、熱意と勇気、謙遜と忍耐を新たにし、若者の宣教に取り組みますように。

ほんの20年前、中央・東ヨーロッパのある国々は全体主義体制に支配された長い期間から解放されました（ポーランド、リトアニア、ウクライナ、ベラルーシ、ロシア、グルジア、スロヴァキア、チェコ共和国、ハンガリー、スロベニア、クロアチア、ルーマニア、ブルガリア、モルドバ、セルビア、モンテネグロ、アルバニア、コソボ）。今、この国々の若者たちは、共産主義の残した無神論的唯物論の影響の入り混じった、消費主義と世俗主義という二重の挑戦を受けています。この国々の中には、いまだ奉獻されたサレジオ会員の召命に不足しているところ、それぞれの文化的・宗教的背景のもとで、私たちのカリスマを表現する最初の教育事業を建設しはじめているところがあります。



メールで「カエ11」を直接受け取りたい方は、
segrgia@donboscojp.org へご連絡ください。